

多様なニーズにワンストップで応え、 確かな技術力で質の高い工事を提供！

株式会社 高田工業

北海道石狩郡当別町栄町 44 番地 119

business
information

・塀工事（ブロック塀・コンクリート塀・インターロッキング・レンガ・タイル）
・土間コンクリート・土工工事・アスファルト舗装・カーポート・ガレージ
・物置・玄関フード・ロードヒーティング・融雪機・フェンス・ウッドデッキ
・除排雪・etc

外構工事をはじめとする幅広い事業を手掛ける『高田工業』。地域の多様なニーズにワンストップで応えて実績を蓄積し、確かな信頼を紡いでいる。本日は、タレントの島崎俊郎氏が同社を率いる高田社長にインタビューを行った。



interviewer
島崎 俊郎



interview

代表取締役
高田 薫



——早速ですが、高田社長の歩みからお聞かせ下さい。

ここ北海道の出身です。中学校卒業後は建築専門学校に進学し、技術と知識を蓄積しました。その中で、数カ月間にわたって大手ゼネコンなどの現場で実習をさせていただく機会がありました。その時に職人さんに目をかけていただいて、卒業後はその方の会社でお世話になることになりました。

——ほう。社長にはセンスがあたりだったと。そちらではどのようなお仕事に携わられたのでしょうか。

主にブロック塀の工事を手掛けていました。10年ほど勤務しましたが、景況の悪化により、出勤しても仕事がなく休みになるということも増えてきましたね。「それなら自分の手で事業をやってみるか」と一念発起し、27歳の時に独立しました。若いうちなら失敗をしてもまたやり直せるという気持ちもありましたから、思い切り突き進んでいくことができました。

——滑り出しは順調で？

はい。勤務時代からのつながりもあり、思った以上に良いスタートを切ることができたと思います。ただ、公共事業の減少などにより、次第にブロック塀工事だけで事業を続けていくことに限界を

感じるようになりました。そこで業容を拡げることを見断。ブロック工事はもちろん、コンクリートやアスファルトの工事、カーポートや物置、ウッドデッキなどの施工、融雪機や除排雪まで幅広く手掛けるようになりました。お客様がそれぞれの工事の専門業者に発注しなくても済むように、多様なニーズにワンストップでお応えできる体制を整えてきたんです。業容拡大後は、お陰様で仕事の依頼も右肩上がりに増えていますよ。

——お客様にとっては利便性が高いでしょうね。では、お仕事の上で大切にしているらっしゃることとは。

至極当然のことですが、いただいたお仕事は一つひとつ手を抜かず、質の高い工事を提供できるように努めています。独立以来、予算や納期に関係なく常に品質を落とさないよう取り組んできたことがお客様からの信用につながり、今があるのだと自負しています。

——なるほど。堅調に事業を推進されていることが伺えます。現在は従業員さんも抱えられているのでしょうか。

ええ。現在は2～3名ほどの従業員が在籍しています。かつては業界全体の需要が落ち込んでいたこともあり、立ち上げから5年ほどは私1人で仕事をこなしてきました。その中で、同業の仲間たち

と互いに協力し合いながら乗り切ってきたんです。その後は業界全体で仕事が増え、徐々に人手が足りなくなってきましたね。それで従業員を迎え入れることになったんです。そして、社会保険への加入など、従業員が働きやすい環境を整備したいという想いで法人化を果たしました。ただ、昨今の建設業界では人材不足が叫ばれており、当社でも人材の確保が大きな課題になっています。これからは若い人材の育成により一層注力し、強固な事業基盤を築いていけたらと考えています。

(2019年6月取材)



「お客様はもちろん、共に働く従業員さん、同業の仲間を大切に歩んでこられた高田社長。一つひとつの仕事に全力を注いでこられた姿に、職人としてのプライドを感じましたね。今後のますますのご活躍を期待していますよ！」 島崎 俊郎・談